



き ず な

絆



よくまなび よくあそび

～ 人生を拓く力の育成 ～

ま な び いっぱい
や さ し さ いっぱい
げ ん き いっぱい

「〇は大きく ×は小さく」～子どもたちに自信の芽を～

「字がきたない」とずっと言われ続けてきた私ですが、小学校6年生のある時、担任の先生から「力強い字だね」とほめられたことがあります。「ゆっくり書くと自分も上手に書けるのか」と少し自信を持ちました。当然、100点満点の基準から私の字を見たら、ほめるような字ではなかったはずですが、その先生は、基準をうんと下げて良さを見つけてほめてくださったのだと思います。

先日、2年生の国語の授業を参観させていただきました。
発表したい児童が列をなして自分の番を待っています。

「〇〇さんの発表は、昨日よりずいぶんよくなったよ！」

「〇〇さんの今の説明はとてもわかりやすいね！」

「〇〇さんのこの言葉の使い方はとてもいいね。はなまるです！」

昨日より良くなったという小さな進歩などを、具体的に、短い言葉でテンポよくほめているのが印象的です。仮に答えを間違えたとしても、良さを見つけて力強くほめていました。子どもたちは一様に笑顔で満足げでした。担任が、子どもたち一人一人のよさを認め、ほめることを意識して授業をしていることがよくわかりました。



東北大学の川島隆太教授によると、人はほめられた時、前頭前野に「快」の情動が起き、脳がすごく活性化するそうです。そして、もっと「快」の刺激が欲しくなり、「もっとがんばろう」「またほめてもらおう」と、どんどんやる気が出てくるそうです。ただし、「快」の情動は理性での反応であり、本能の手助けを受けない分記憶への刻まれ方が浅く、はっきりと効果を表すためには繰り返しほめることが必要です。一方、叱られた時の「不快」の情動は、本能的なことをつかさどる脳での反応になるので、早く、しっかりと記憶に残り、ほめるよりも効果は大きいそうです。しかし、現実問題として、叱り続けると本能がそれを避けようとして、聞く耳を持たなくなります。したがって、「ほめること9割、叱ること1割」が理想だということです。（『わかっちゃいるけど ほめられない』＜宝島社＞より）

喧嘩をした時は叱っても、仲良くしている時はほめません。それは、「こうあってほしい、こうあって当然」という100点満点を求めているからではないでしょうか。

「わかっちゃいるけど、ほめられない」という方も、基準を少し下げれば、ほめることは結構見つかります。ほめる言葉のシャワーを存分にふりそそぎ、子どもたちの「自信の芽」を育て、元気とやる気、本気を引き出していきたいものです。

夏休みは、お子さんと一緒に過ごす時間が多くなります。ご家庭で、子どもたちのがんばりを上手にほめてほしいと思います。



歓迎！ブルガリア新体操チーム

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会がまもなく開会しますが、市川市は、ブルガリア共和国のホストタウンとして、ブルガリア新体操チームを応援しています。

このたび、チームの事前キャンプを国府台市民体育館にて実施する予定となっており、歓迎イベントの一つとして、市内の小中学校の各クラスで、応援のぼり旗の作成とマリーゴールドの花を育て、市内を飾ることになりました。



自主公開研究会（校内授業研）

6月24日（木）に2年2組と6年1組で研究授業を行いました。授業には、本校の教職員の他、宮田小学校や鶴指小学校、大洲中学校等の先生方が参観しました。

児童下校後に行われた研究会では、指導の内容や児童の様子等、参観して気が付いたことを中心に意見交換をし、良かった点や反省点、今後の課題等を討議しました。



最後に講師から「児童一人一人が、イメージしたことを適切に表現することができていました。また、思いや考えを話しあったり、発表しあう場面を教師が意図的に設定したりすることで、友だちの考えを知ることができ、自分の中にも新たな気づきがあったようです。」「主体的・対話的な学びであり、学びが確実に深まっていると思います。」と講評をいただきました。

連絡事項

学校関係者評価(保護者アンケート)へのご協力、ありがとうございました

今月の学校関係者評価の提出、ありがとうございました。提出者459名(88%)でした。現在、集計作業を終え、分析・検討を進めております。なお、結果につきましては、後日ご報告させていただきます。

また、記述については「記載した方に対して回答する」という性格のものではないため、検討資料の一つとさせていただき、今後の教育活動に生かしてまいります。中には、教職員への感謝・励ましも多数含まれていました。皆様の温かい心遣いは、教職員のやる気(モチベーション)を高めます。ありがとうございました。

児童生徒向け、わいせつセクハラ相談窓口の開設について

千葉県教育委員会より児童生徒向けわいせつセクハラ相談窓口(下記URL)の開設について、連絡がありましたのでお知らせします。

https://s-kantan.jp/pref-chiba-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=2303

大洲小ホームページの模様替え

学校ホームページは、学校の概要など様々な情報を発信しています。昨年度はコロナ関連の情報を多く載せていましたが、一方で学校の様子がわかりづらいとのご意見をいただくことができました。

そこで、今回から「大洲小NEWS」をトップページに載せ、ダイレクトに児童の活動の様子がわかるようにしました。今後も見やすいホームページになるように、修正を加えていきたいと思っています。

<https://ichikawa-school.ed.jp/ohsu-sho/>

